

日本メンテナンス工業会「メンテナンス技術賞」受賞

受賞者 技術本部 企画開発部 中野 正大さん

2019年度（第4回）の日本メンテナンス工業会表彰において、「エチレン製造装置における分解炉輻射部の補修溶接技術」が評価され、当技術の開発に長年携わった技術本部 企画開発部の中野正大さん（九州工業大学 大学院 生命体工学研究科に出席中）が「メンテナンス技術賞」を受賞しました。

2016年度から始まった当表彰制度は、一般社団法人 日本メンテナンス工業会がプラントメンテナンス業全般の発展、メンテナンスに関わる技術・技能、人材育成および社会への貢献等において顕著な成果を収めたと認定した企業、個人の業績を表彰するものです。第4回は「メンテナンスマイスター賞」に6名、「メンテナンス技術賞」に1名、「メンテナンス奨励・普及賞」に1名が選出されました。

（工業会表彰制度のHP, <http://www.jamsec.jp/award/>）

当技術は、「高温で長時間使用した分解炉輻射部は浸炭やエロージョンが進んでおり、更新の際の補修溶接が非常に難しい場合があります。輻射管は在庫が少なく簡単に手に入らないため、既設管を失敗なく補修溶接することが求められます。当社では、この補修溶接にバタリング法を用いることで、浸炭割れや延性低下割れなどの欠陥をなくすことに成功し、従来不可能であった補修溶接を短期で確実に行うことができるようになり、実機においても100か所以上で成功を収め、お客様の設備の休止時間の短縮など安定操業に大きく貢献している。」ことが評価されました。

（日本メンテナンス工業会 会報, 第105号, Vol.31, No.1, pp.43-47 (2021)）



【当社の日本メンテナンス工業会表彰の受賞歴】

2018年度（第3回）メンテナンス技術賞「シート式バックシールド工法」, 浜田 宏昭さん

2017年度（第2回）メンテナンス技術賞「電流情報量診断システム（T-MCMA）商品化開発」, 劉 信芳さん（代表）